途切れた「8」をつなぎ直し、地域に寄り添う終活・住まい再生へ

8Born株式会社
代表取締役 吉村 輝昭 さん



どん底からの再起―社名「8Born」に込めた誇りと決意

自身が経営する会社の倒産という大きな挫折を経験しながらも、「もう一度立ち上がり社会に貢献したい」という強い決意で吉村輝昭さんが創業した8Born株式会社の社名には、並々ならぬ想いが込められています。「七転び八起き」に由来する社名「8Born（エイトボーン）」には、愛する地域と支えてくださった方々に恩返しをしたいという願いが込められています。

安心して任せられる終活支援

事業を始めるきっかけの一つは、ある方から寄せられた「安心して任せられる遺品整理の担い手がほしい」という要望でした。その声に応えるため、吉村さんは遺品整理士の資格を取得。関係する法令やルールの順守はもちろん、ご本人やご家族の気持ちに寄り添うことを大切にしています。片付けに伴うごみの収集・運搬は、市町村の許可を受けた業者と連携して対応します。「大切なのは、高い倫理観と優しさを持って、一つひとつのご相談に向き合うこと」と吉村さんは語ります。

遺品整理士の資格取得後、吉村さんは適正処理と明瞭会計を徹底。さらに、ご親族を亡くされたばかりのデリケートな依頼者の心に寄り添い、効率や目先の採算性を優先せず、丁寧に時間をかけて判断を待つ「ホスピタリティ」を貫きました。「ご依頼をくださる方は、皆様大切な家族を亡くされています。そのような方の思い出を丁寧に整えてあげることが大切なのです」と吉村さんは遺品整理に対する思いを語ります。

この「遺品整理で培った強い信頼関係」こそが、同社の次なる強みへと昇華します。遺品整理を通じて生まれた信頼から「お宅でこんなリフォームや工事もできる？」という相談が自然発生的に寄せられるようになりました。

同社には、片付け後のハウスクリーニングから、住まいのリノベーション、建物の解体、さらには庭の樹木を撤去して更地・防草シート・駐車場化する「庭じまい」までを一社で完結できる体制があります。一社完結型のワンストップ体制により、複数業者を手配する中間マージンをカットした「大幅なコスト削減」、代表自身の現場判断による「スピーディーな意思決定」、遺品整理で確立された「確かな信頼に基づく施工」という3大メリットを実現し、遺品整理士と一般建築業許可を有する吉村さん独自のビジネスモデルを確立しています。



Before
アパートの片付け



After

2025年問題と迫りくる社会課題へ挑む

いわゆる「2025年問題」により団塊の世代がすべて後期高齢者となり、超高齢社会が本格化する中、地方都市である岐阜市においても単身高齢世帯の増加や空き家問題の深刻化は避けて通れない課題となっています。吉村さんは、東京での実務修行や地元での作業を通じ、高齢者の体力・気力の低下による「セルフネグレクト（自己放任）」や、さらにはその果てに起きる「孤独死」、「特殊清掃」といった凄惨な現場を数多く目撃・体験してきました。孤独死された方のご遺体の跡が散乱したゴミの中に残っていたり、人生の最期として、人の尊厳が保たれていない現状に酷く衝撃を受けました。

「身寄りがなく経済的・健康的に困窮している高齢者が、ゴミに囲まれて暮らし、悲しい最期を迎えてしまうような状況を未然に防ぎたい」――この思いから生まれたのが、同社が新たに立ち上げる地域貢献事業「8の日」です。

「8の日」は、毎月8日に、吉村さんとスタッフが地域の困窮者や孤立世帯の自宅へ赴き、無償（ボランティア）での片付けや生前整理を引き受ける取り組みです。末広がりを意味する「八」にちなみ、開催します。「私自身、一度大きく転び、多くの方に支えていただいて、もう一度仕事を始めることができました。だから今度は、地域に返していきたい」と吉村さん。自分たちの経験と技術を生かした支援を続け、地域の安心につなげていきます。

閑話

吉村さんの取り組みは新たな事業にも結実しています。大型温室の片付けを引き受けたことをきっかけに、その温室空間を活用したマンゴー栽培に着手。宮古島原産の希少品種「夏小紅（なつこべに）」の生産に挑戦し、岐阜の気候と温室環境を生かして糖度18度を超える極上のマンゴー収穫に成功しました。遊休資産を再生し、新たな特産品化を目指すこの試みに同社の精神が表れています。

地域とともに歩む未来

今後の展望として、同社は遺品整理からリフォーム・解体、そして不動産の売却・活用までを一貫して手掛ける「総合終活支援企業」としてのポジション確立を目指しています。2025年問題から今後年々高まる単身高齢者世帯の増加や空き家対策に対し、的確な価値向上策を提示していく構えです。

「多くの方々に支えていただき、ふたたび仕事をさせていただくことが出来ました。私が今思うのは、事業は決して一人ではできないということです」吉村さんは自身の思いと今後の地域と共に歩む未来を語ります。「地域の人々や企業に生かされ、支えられて今があります。経営には良い時も悪い時もありますが、同じ地域で商いをする仲間として互いに支え合い、協力しながら岐阜の街を盛り上げていきたい。そして、どんな状況からでも立ち上がればやり直せるのだという姿を示し、地域の人々に希望を与え続けたいと考えています。」

誠実な「優しさ」、そして地域への「恩返し」を原動力に8Bornは歩んでいます。



8Born株式会社
住所 岐阜市上川手545-1
TEL 058-213-3777